

校訓	真善美	令和7年度 学校だより 「荒中だより」 11月 霜月 第16号	発行日	令和7年11月12日
教育目標	自ら考え、協働し、共に未来を創造する生徒の育成 -認め合う心、確かな学力、健やかな心身を育てる-		発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 二宮 啓二

地域とともにある荒牧中学校

秋が深まり、朝晩はめっきり寒くなってきました。それもそのはず、暦の上では7日に立冬を迎え、もう冬が始まっています。これから少しづつ冬の気配が感じられるようになってくるのでしょうかね。日中はまだまだ暖かい日差しもあり、この時期は寒暖差が大きいです。現在、インフルエンザ等も流行しています。期末テスト期間でもありますので、みなさんも感染症対策、体調管理を徹底してください。

先週11月4日は創立記念日でした。今年は、荒牧中学校が開校して46年目になります。本校は昭和55年に、下ノ池という池を埋め立て、天王寺川中学校から分かれた2年生222名、新たに入学した302名の1年生と23名の教職員とでスタートしました。



池の上に建つ荒牧センター

開校まもない頃、緑豊かな環境を整えようと、地域の方々からご寄贈いただいたおよそ800本もの樹木を、当時の生徒、PTA、職員が地域の皆さんと一緒に植樹したそうです。今、校舎やグランドを温かく見守ってくれている木々はそのときに植樹されたものです。そしてその年の11月4日に開校式が行われたため、この日が創立記念日になりました。



現在11000名を超える卒業生が社会の中でそれぞれ活躍されています。今後も校訓『真 善 美』の心を持った生徒が、変化の激しい社会をしなやかに生き抜く人に育ち、社会に貢献してくれることを願っています。

→ 建造間もない頃の校舎

さて、冬の足音が近づいてきていますが、「食欲の秋」、「芸術の秋」、「読書の秋」などと言われる秋を、皆さんはどう過ごしてきましたか？

10月29日（水）には、『第57回伊丹市中学校交歓音楽会』が行われ、本校を代表して1年2組が『HEIWAの鐘』を、続いて2年2組が『この地球のどこかで』を披露しました。参加した皆さんにとっては、それぞれの自信になるとともに、他校の素晴らしい演奏を聴き刺激を受けたことでしょう。実は、長く続いた伊丹市交歓音楽会ですが、様々な教育課題を検討する中で、今年度をもって終了することなっています。今回、参加し、素晴らしい経験をしたみなさんが中心となって、来年度の演奏をより高めてくれると信じています。

また、2日（日）、いたみホールでは『第50回吹奏楽のつどい』が行われ、市内の小中学校吹奏楽部が自慢の演奏を披露しました。荒中吹奏楽部の3年生にとっては、3年間の集大成となる素晴らしい演奏でした。



3年生の皆さん、本当にご苦労様でした。

伊丹市新人大会 成績報告（団体）

優 勝

男子バレー部

バドミントン部 女子団体



準優勝

女子バスケットボール部

サッカーチーム



第三位

男子バスケットボール部

自信と誇りを持てる学校を創ろう!!